

# 太陽光パネルの反射光トラブルにご注意ください

太陽光パネルの設置の仕方によっては、季節や時間帯により、**近接する建物や施設への反射光により、トラブルに発展する場合があります。**

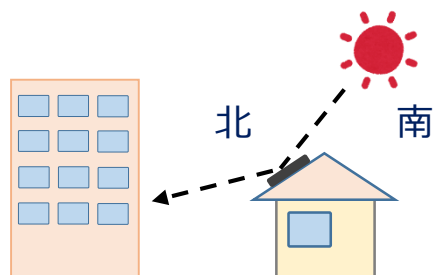
反射光の対策として、パネルの向きや配置を調整したり、太陽光の反射を抑えたパネルを採用したりする方法があります。

太陽光パネルを設置する場合は、**事前に周辺の建物・施設等の状況を確認し、反射光の影響によるトラブルにならないようご注意ください。**

## トラブルの事例

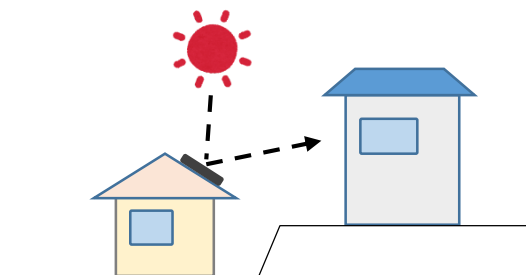
### ●北側の屋根にパネルを設置する場合

太陽光が低い角度で反射するため、隣家の窓に反射光が差し込みやすくなります。



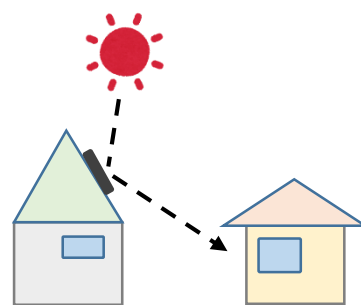
### ●パネルより高い位置に隣家の窓がある場合

隣家の窓より低い位置にパネルを設置した場合、反射光が差し込みやすくなります。



### ●屋根の傾斜が急な場合

急な傾斜の屋根にパネルを設置すると、反射が起きやすくなります。



## トラブルを防ぐために

- 反射光のほか、温度上昇、パワーコンディショナーからの騒音といったトラブルを避けるため、発電設備を設置する前に、反射の角度やパワーコンディショナーの設置位置などを事前に確認しましょう。
- 設置時には、周辺住宅への影響を加味するなどの確認を行うとともに、必要に応じて、事前に地域住民や隣家への説明を行うといった配慮をお願いします。